

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!

REPORT 180



イベント開催中の様子

花粉症や食物アレルギー、寒暖差アレルギーなど、最近では「アレルギー」という言葉をよく聞くようになり、多くの人々が、理解や知識を持つようになってきました。15年にわたり、アレルギーのある子どもたちとその保護者を支援してきた「アレルギーっ子のつどい クリスマスローズ」に話を聞いてきました。

2006年、アレルギーのある子どもと母親5名が「アレルギーっ子のつどい クリスマスローズ」を結成しました。困っていることを話し合いたい、どこでアレルギー対応食品が買えるのか、どの病院に行ったら症状が良くなるのか、「情報交換したい」という思いからでした。現在、メンバーは30名。入園・入学時や修

アレルギーを皆で理解し、共に助け合える環境を



春日井市民病院小児科アレルギー専門医 小林貴江先生を講師に「学ぼう!アレルギーの基礎知識」講座を開催しました。

学旅行など、子どもが親と離れて過ごす時に先輩ママたちが経験したことや実践したことを共有し、成長とともに変化する相談にも対応しています。

クリスマスローズつて

団体名の「クリスマスローズ」は、設立日11月16日の誕生日。エリザベス女王の時代には「憂鬱をなおす薬草」とも言われていたことから、母親たちの悩みを和らげてくれるように期待を込めて命名しました。困難な環境でもたくましく咲く「クリスマスローズ」のように育ててほしいというアレルギーっ子への思いも込められています。

これまで、地域や園・

学校などで子どもと関わる人にも正しい知識を普及したいと願い、市民生活動助成金などを活用して、エピペン(アドレナリン自己注射薬)の使い方講習やアレルギー対応食品の調理実習を開催したり、アレルギー対応アルファ化米を市内の診療所に備蓄してもらったりとさまざまな活動を展開してきました。アレルギー支援ネットワークや東海アレルギー連絡会に所属し、横のつながりも広がっています。

子どもと親を守るため

東日本大震災の教訓から、通常の非常食などを食べられないアレルギーっ子のことを周囲の大人が理解し、適切に対応することができるよう、ア



会の代表の土方裕美さん(左)と、副代表の丸山真由美さん。

レルギー対応災害時食についての広報活動をしています。「食品ラベルの表示を配慮してもらうだけでも、食べられる子が増えます」と代表の土方裕美さん。アレルギーがある子も疎外感なく暮らせる社会をみんなで考えたいという思いで、小牧市総合防災訓練や市民活動祭などにも参加し、発信を続けています。「不安や悩みがあれば、お気軽に相談してください」。

編集後記



みくる

子どもは学校、親は会社と別々の場所で被災した時、小さな子どもたちが自分のアレルギーの状況をきちんと他の大人に伝えることができるのか。備える大切さを痛感し、こんな活動をしている会の皆さんに頭が下がります。

アレルギーっ子のつどい
クリスマスローズ

メール: kmstoseikomaki@gmail.com



↑ Facebook

日本人初

走るピアノで日本全国へ

クラウン(道化師)のカノンと潤のコンビ、オーバートーンのカノンさん(小牧出身・小牧在住)にクラウンの魅力をつたう語り語ってもらいました。

小さい頃からピアノになりたかったと語るカノンさん。犬山のリトルワールドで世界のサーカスを見た際に舞台上に呼ばれ、ピアノのお手伝いした記憶が今でも鮮明に残っているそうです。その体験がきっかけとなりいつかピアノになりたいと思うようになった。

ある時、名古屋にあるプレジャーBというイベント会社のクラウン養成講座を受講し、その後プレジャーBの試験に見事合格。念願のクラウンになり、そ



**ワクティブこまき
1周年記念
ステージイベントに出演決定!**

日にち: 11月14日(日)
場所: ラピオ2階

※詳しくは、ワクティブこまきホームページでご確認ください。

世界で絶賛!カノンと潤ステージです。



こでの活動が始まりました。

表現するのが大好き

2006年にコンビを
結成し、約3年前にお世話

◀「走るピアノ」動画は
コチラから



▶クラウンカノンの
ホームページはコ
チラから



になったプレジャーBから卒業しました。基本的には言葉を発しないサイレントコメディを貫き、世界に共通する表現方法でお客さんをとりにこします。道化師の世界大会にて受賞歴もあるそうです。ピアノを走らせてしまう面白い発想。そして自転車をこぎながらピアノを弾く技も必見。クラウンのファンタジーなイメージを大切に、皆を笑わせ和ませることができたらとの思いで、ピアノだけでは

ピアノにトロンボーン、フルートにサクソなどいろいろな楽器をこなします。



トロンボーンやアコーディオンなど色々な楽器を操り、道具やセットも全て手作り。イベントのチケット販売、パンフレット作成、PRまで全て自分でこなします。

活動の幅は無量大

コロナ禍の今はイベントが次々と中止になり、結成以来初めての氷河期にあるとのことですが地元小牧での活動に力を入れたら、走るピアノで日本全国をまわるのが目標です。今後は11月14日にラピオ2階で開催予定のワクティブこまき1周年記念イベントに出演予定。小さな子どもから大人まで楽しめるオーバートーンのドタバタコメディを間近で見れば、2人の魅力に引き込まれること間

今回の取材先

クラウン カノン



問い合わせ:
下記のQRコードから



編集後記



あんみつ

クラウンは演じるのではなく、クラウンになるそうです。素敵な話ですね。しかしながら、クラウンは体力勝負とのこと。ジムに通い鍛えているそうです。プロ意識が高い。さすがです。ステージ上のカノンさんを見てみたいものです。

違いなし。バルーンアート、ジャグリング、アクトバット、マジック、サイエンスショーなど依頼があれば何でも引き受けます。オーバートーンのこれからの活動に注目です。